

2009年度 決算説明会

2010年5月17日

株式会社フジ・メディア・ホールディングス

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値など、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

【連結】

(単位:百万円)

	第4四半期			通期				
	10年1月-3月	09年1月-3月	増減率	09年度	2/4発表予想	増減率	08年度	増減率
売上高	148,461	135,847	+ 9.3%	583,843	578,100	+ 1.0%	563,320	+ 3.6%
営業利益	3,344	▲ 205	—	9,279	3,700	+ 150.8%	19,830	▲ 53.2%
経常利益	3,108	▲ 1,395	—	12,060	6,200	+ 94.5%	22,365	▲ 46.1%
純利益	938	7,446	▲ 87.4%	7,459	3,500	+ 113.1%	16,567	▲ 55.0%

【フジテレビ】

(単位:百万円)

	第4四半期			通期				
	10年1月-3月	09年1月-3月	増減率	09年度	2/4発表予想	増減率	08年度	増減率
売上高	81,895	83,227	▲ 1.6%	327,359	322,500	+ 1.5%	347,877	▲ 5.9%
営業利益	3,750	931	302.8%	9,884	5,800	+ 70.4%	17,872	▲ 44.7%
経常利益	3,814	1,001	281.0%	10,224	6,100	+ 67.6%	22,373	▲ 54.3%
純利益	2,372	474	399.8%	6,392	3,500	+ 82.6%	9,426	▲ 32.2%

広告市況・消費の低迷により大幅減益 ただし、2月修正予想からは改善

- ◆ **フジテレビスポット収入は回復基調**
 - ・フジテレビのスポット収入は第3四半期に続き第4四半期も前年を上回った。
 - ・ただし、タイム収入は下期も引き続き軟調で、放送収入合計では通期で減収
- ◆ **費用コントロールを継続、好調な視聴率**
 - ・計画的に制作費を抑制し、前年比4.8%の削減を達成
 - ・2009年度の視聴率は6年連続で三冠王
- ◆ **ほとんどのセグメントで2月修正予想を上回る実績**
 - ・放送収入増に加え、ラインナップ強化したDVD販売なども大きく改善

【通期（09年4月-10年3月）】

（単位：百万円）

	放送事業	制作事業	映像音楽事業	生活情報事業	広告事業	その他事業	消去又は全社	連結	
主な連結会社	フジテレビジョン ニッポン放送 (2社)	共同テレビジョン フジクリエイティブ コーポレーション フジアール (9社)	ポニーキャニオン フジパシフィック 音楽出版 Fuji Entertainment America, Inc. (8社)	デイノス セシール サンケイリビング 新聞社 (8社)	クオラス 協同広告 (2社)	扶桑社 フジミック ニッポン放送 プロジェクト (6社)	フジ・メディア・ ホールディングス (1社)	 (36社)	
売上高	09年度	348,076	43,939	62,375	119,855	46,149	29,490	▲ 66,043	583,843
	2/4発表予想	342,800	43,200	61,900	121,500	44,200	29,600	▲ 65,100	578,100
	増減率	+ 1.5%	+ 1.7%	+ 0.8%	▲ 1.4%	+ 4.4%	▲ 0.4%	—	+ 1.0%
	08年度	370,368	48,359	68,508	81,827	34,007	33,118	▲ 72,867	563,320
	増減率	▲ 6.0%	▲ 9.1%	▲ 9.0%	+ 46.5%	+ 35.7%	▲ 11.0%	—	+ 3.6%
営業利益	09年度	9,992	1,517	427	▲ 139	▲ 291	▲ 29	▲ 2,198	9,279
	2/4発表予想	5,600	1,300	0	▲ 300	▲ 500	0	▲ 2,400	3,700
	増減率	+ 78.4%	+ 16.7%	—	—	—	—	—	+ 150.8%
	08年度	18,700	1,826	2,250	90	▲ 58	▲ 669	▲ 2,310	19,830
	増減率	▲ 46.6%	▲ 16.9%	▲ 81.0%	—	—	—	—	▲ 53.2%

第4四半期セグメント別業績

【第4四半期（10年3月31日に終了した3ヶ月間）】

（単位：百万円）

	放送事業	制作事業	映像音楽事業	生活情報事業	広告事業	その他事業	消去又は全社	連結	
主な連結会社	フジテレビジョン ニッポン放送 (2社)	共同テレビジョン フジクリエイティブ コーポレーション フジアール (9社)	ポニーキャニオン フジパシフィック 音楽出版 Fuji Entertainment America, Inc. (8社)	ディノス セシル サンケイリビング 新聞社 (8社)	クオラス 協同広告 (2社)	扶桑社 フジミック ニッポン放送 プロジェクト (6社)	フジ・メディア・ ホールディングス (1社)	(36社)	
売上高	09年度4Q	86,193	11,766	16,184	31,309	12,584	7,623	▲17,201	148,461
	08年度4Q	88,033	12,567	17,185	19,184	9,962	7,262	▲18,348	135,847
	増減率	▲2.1%	▲6.4%	▲5.8%	+ 63.2%	+ 26.3%	+5.0%	—	+ 9.3%
営業利益	09年度4Q	3,678	259	526	▲741	▲73	▲82	▲222	3,344
	08年度4Q	907	298	99	27	35	▲940	▲633	▲205
	増減率	+ 305.3%	▲13.1%	+ 430.4%	—	—	—	—	—

放送	フジテレビは増益、ニッポン放送は赤字幅拡大	生活情報	ディノスの在庫評価方法の変更などにより大幅減益
制作	受注状況の停滞が続き減収減益	広告	広告市況の停滞が続き減益
映像音楽	費用コントロールが奏功し大幅増益	その他	扶桑社の改善により赤字幅縮小

【連結】

(単位:百万円)

	上期予想	前期比	下期予想	前期比	通期予想	前期比
売上高	289,000	+ 2.9%	299,200	▲ 1.3%	588,200	+ 0.7%
営業利益	6,500	+ 137.4%	10,100	+ 54.4%	16,600	+ 78.9%
経常利益	7,200	+ 56.8%	9,900	+ 32.5%	17,100	+ 41.8%
純利益	1,600	▲ 47.1%	5,100	+ 15.0%	6,700	▲ 10.2%

【フジテレビ】

(単位:百万円)

	上期予想	前期比	下期予想	前期比	通期予想	前期比
売上高	164,500	+ 0.4%	160,600	▲ 1.7%	325,200	▲ 0.7%
営業利益	8,100	+ 159.6%	7,800	+ 15.3%	16,000	+ 61.9%
経常利益	8,200	+ 142.8%	7,800	+ 13.9%	16,000	+ 56.5%
純利益	3,900	+ 162.4%	4,100	▲ 16.4%	8,000	+ 25.1%

【放送収入前年比】

	上期	下期	通期
ネットタイム	▲5.0%	▲4.5%	▲4.8%
ローカルタイム	▲14.5%	▲23.2%	▲18.8%
スポット	+ 7.1%	+ 1.9%	+ 4.4%
放送収入	▲0.5%	▲2.8%	▲1.6%

放送収入の底打ちを探りながら、大幅増益を見込む

- ◆ **フジテレビは減収ながらも大幅増益の計画**
 - ・スポット収入は好調を維持するもタイムは厳しく見込み、放送収入全体では微減収の計画
 - ・番組制作費をはじめとする費用の一段の見直しを実施
 - ・大型作品の並ぶ映画事業の貢献に期待
- ◆ **放送事業以外のセグメントも大幅な収益改善の見込み**
 - ・生活情報事業は、ディノス・セシールの経営統合効果などにより黒字化を見込む。
 - ・その他、各セグメントで費用の徹底したコントロールなどにより増益の計画

2010年度セグメント別業績予想

【上期・業績予想】

(単位:億円)

		放送事業	制作事業	映像音楽事業	生活情報事業	広告事業	その他事業	消去又は全社	連結	
上期	売上高	10年9月期予想	1,741	212	251	654	210	134	▲312	2,890
		09年9月期実績	1,739	218	319	492	221	146	▲331	2,807
		増減	+1	▲6	▲68	+161	▲11	▲12	+19	+82
	営業利益	10年9月期予想	84	6	▲8	▲8	▲1	1	▲9	65
		09年9月期実績	33	9	1	▲5	▲1	0	▲11	27
		増減	+50	▲3	▲9	▲2	0	0	+2	+37
通期	売上高	10年度予想	3,435	425	559	1,380	435	279	▲631	5,882
		09年度実績	3,480	439	623	1,198	461	294	▲660	5,838
		増減	▲45	▲14	▲64	+181	▲26	▲15	+29	+43
	営業利益	10年度予想	161	12	6	1	▲1	4	▲17	166
		09年度実績	99	15	4	▲1	▲2	0	▲21	92
		増減	+61	▲3	+1	+2	+1	+4	+4	+73

フジテレビの業績

- ◆ 第4四半期は、放送収入の落ち込みを上回る放送事業原価の抑制を実現、その他事業収入もイベント・映画事業の増収が大きく、販管費の削減が奏功し、大幅増益となった。

(単位: 百万円)

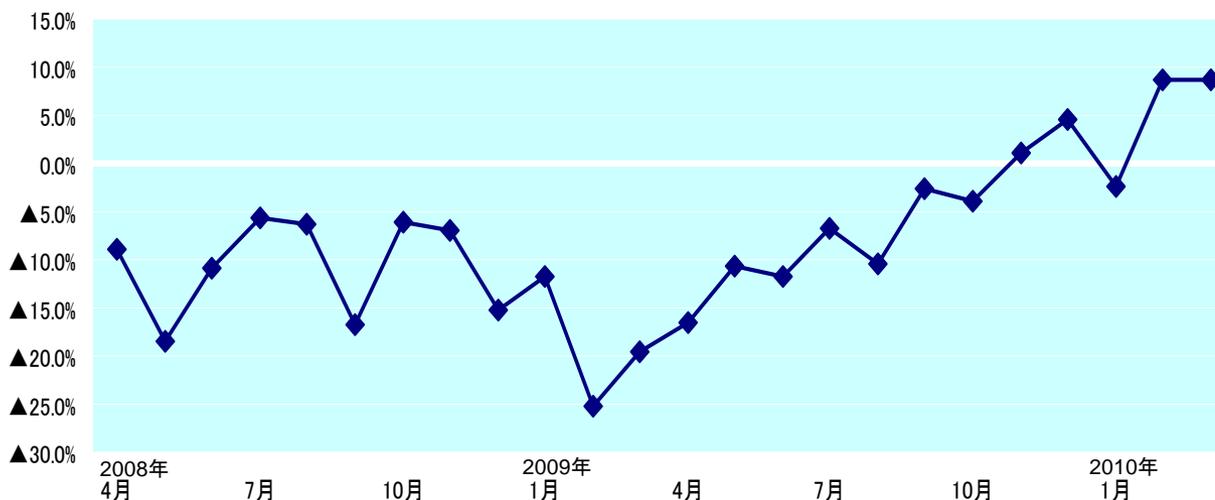
	第4四半期			通期		
	10年1月-3月	09年1月-3月	増減率	09年4月-10年3月	08年4月-09年3月	増減率
放送事業収入	68,217	71,945	▲5.2%	276,758	300,199	▲7.8%
放送収入	59,908	64,275	▲6.8%	244,406	268,774	▲9.1%
その他放送事業収入	8,308	7,678	+ 8.2%	32,352	31,424	+ 3.0%
その他事業収入	13,678	11,273	+ 21.3%	50,601	47,678	+ 6.1%
売上高合計	81,895	83,227	▲1.6%	327,359	347,877	▲5.9%
放送事業原価	47,133	50,350	▲6.4%	191,104	199,133	▲4.0%
その他事業原価	10,000	9,926	+ 0.7%	42,540	40,277	+ 5.6%
販売費・一般管理費	21,010	22,019	▲4.6%	83,829	90,593	▲7.5%
営業利益	3,750	931	+ 302.8%	9,884	17,872	▲44.7%

- ◆ 第3四半期に続き、第4四半期も前年同期超えとなった。
- ◆ 好調な視聴率を背景にシェアの拡大が続く。
- ◆ 2010年度は前年同期比で、上期+7.1%・下期+1.9%の通期+4.4%を見込む。

(単位:百万円)

	09年度					08年度	増減額
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	通期	
スポット収入	28,149	24,230	30,057	27,248	109,686	113,962	▲4,276
前年同期比	▲13.1%	▲6.4%	+ 0.6%	+ 5.6%	▲3.8%		

スポット収入 前年同期比推移



関東地区投下量シェア

	シェア	前年比
第1四半期	28.5%	▲0.1%
第2四半期	28.7%	+ 0.5%
第3四半期	28.8%	+ 0.7%
第4四半期	28.8%	+ 0.9%

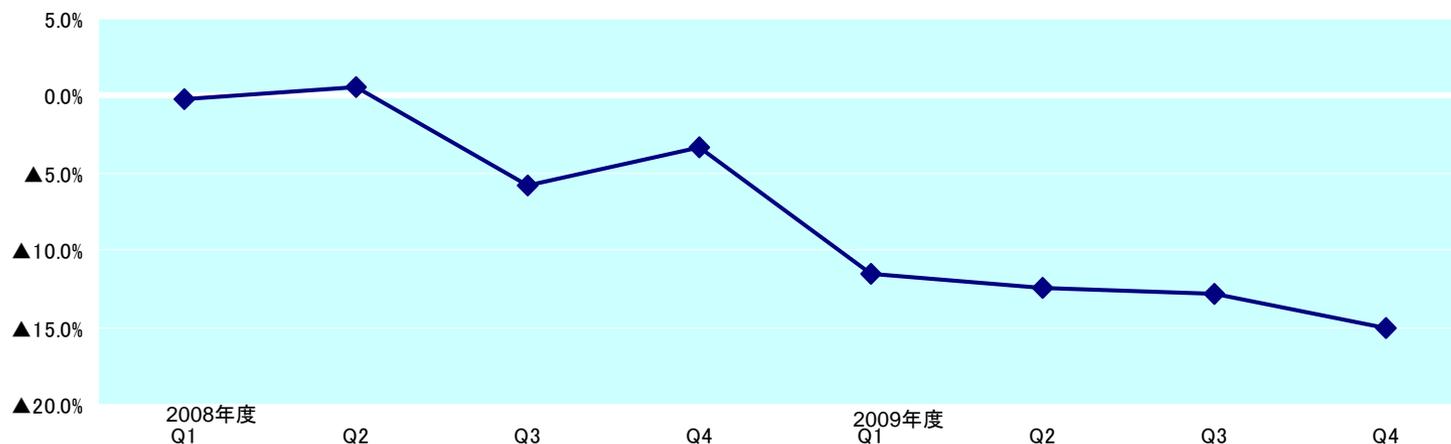
※シェアに関しては推計

- ◆ 第4四半期は前年3月の大型セールスの反動により、前年同期比減
- ◆ 4月改編レギュラー枠セールスは、10月改編期セールスの水準を維持
- ◆ 2010年度ネットタイムは前年同期比で上期▲5.0%・通期▲4.8%、ローカルタイムは上期▲14.5%・通期▲18.8%を見込む。

(単位:百万円)

	09年度					08年度	増減額
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	通期	
ネット	29,639	30,889	28,621	28,446	117,598	134,496	▲16,898
前年同期比	▲10.7%	▲11.7%	▲12.6%	▲15.3%	▲12.6%		
ローカル	4,260	4,399	4,248	4,213	17,121	20,315	▲3,193
前年同期比	▲16.9%	▲17.3%	▲14.5%	▲14.0%	▲15.7%		
タイム収入	33,900	35,289	32,869	32,660	134,720	154,811	▲20,091
前年同期比	▲11.5%	▲12.5%	▲12.9%	▲15.1%	▲13.0%		

タイム収入 前年同期比推移



- ◆ 食品、非アルコール飲料、流通・小売業は、9月以降継続して前年同期を上回る。
- ◆ 第4四半期に入り自動車・関連品、化粧品・トイレタリー、外食・各種サービスなどが反転
- ◆ スポンサー数の増加傾向が続くとともに、大口契約件数が増加

【1月-3月累計】

出稿の伸びた業種

業種	シェア	前年シェア	前年比
外食・各種サービス	11.4%	11.7%	+ 3.1%
食品	9.0%	7.9%	+ 20.1%
通信	8.8%	8.5%	+ 10.5%
化粧品・トイレタリー	8.7%	8.7%	+ 5.5%
自動車・関連品	8.2%	7.2%	+ 21.3%
衣料・身回品・雑貨	5.9%	3.9%	+ 59.1%
非アルコール飲料	4.7%	5.0%	+ 0.3%
流通・小売業	4.5%	3.9%	+ 22.6%
不動産・住宅設備	3.3%	3.1%	+ 13.1%
金融・保険	3.0%	2.8%	+ 10.4%
エネルギー・機械	1.4%	0.2%	+ 659.7%
その他	1.3%	1.2%	+ 10.7%

出稿の減少した業種

業種	シェア	前年シェア	前年比
エンタテインメント	10.6%	12.5%	▲10.1%
アルコール飲料	5.5%	5.9%	▲2.5%
医療品・医療用品	4.1%	5.3%	▲18.1%
事務・精密・光学機器	4.0%	5.3%	▲20.2%
交通・レジャー・観光	3.4%	4.5%	▲19.9%
家電・AV機器	2.3%	2.4%	▲0.5%

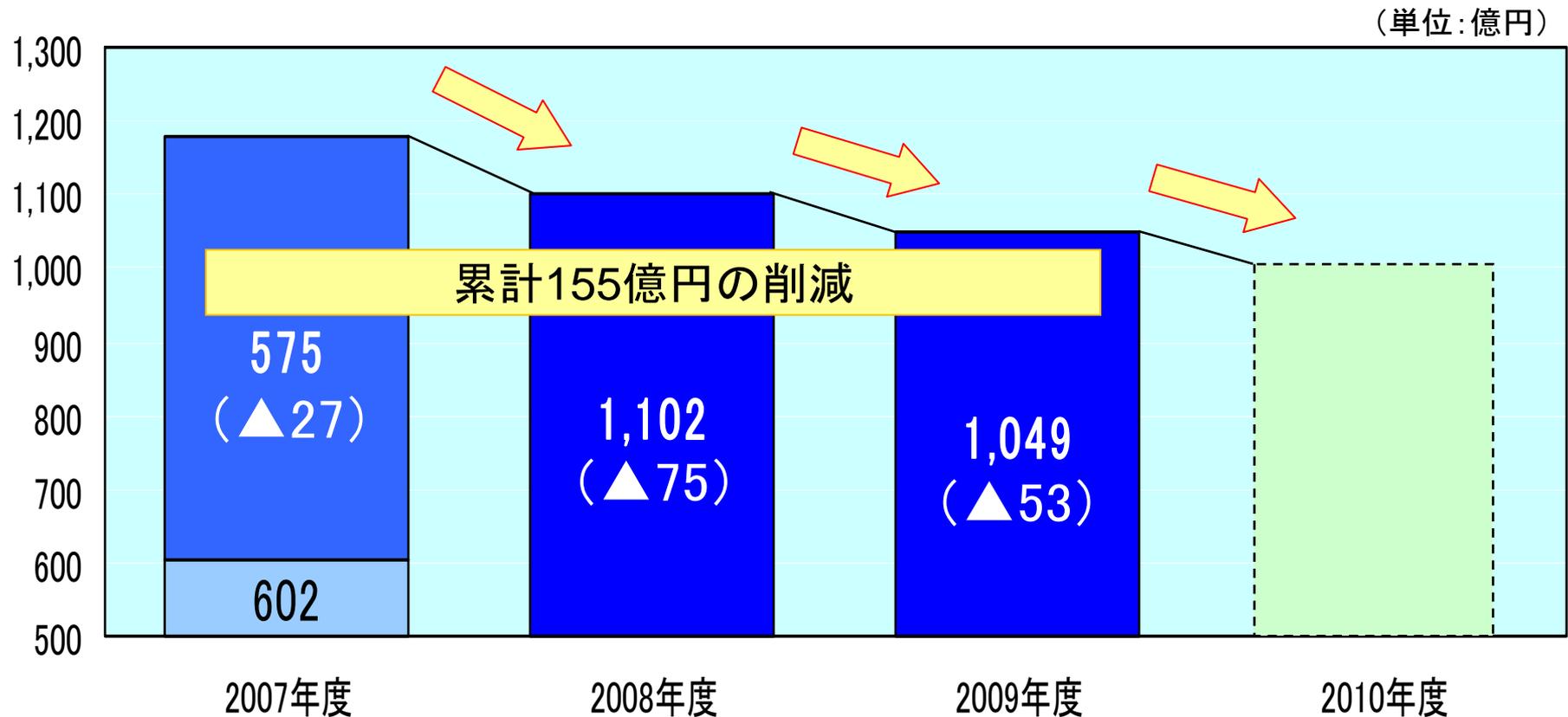
- ◆ 第4四半期も好調な視聴率を維持しながら制作費のコントロールを継続

(単位:億円)

	10年3月期	09年3月期	増減率
第1四半期	270	263	+ 2.6%
第2四半期	261	280	▲6.6%
上期	532	544	▲2.1%
第3四半期	260	273	▲4.7%
第4四半期	256	285	▲10.0%
下期	517	558	▲7.4%
通期	1,049	1,102	▲4.8%

※自主制作番組及び購入番組の直接費

- ◆ 2007年度下半期からの計画的な削減は、累計で155億円
- ◆ 2010年度も番組のソフト価値を維持しながら、更なる制作費の効果的運用を継続



- ◆ 6年連続で年度通期の三冠王 制作費を抑えながら、視聴率アップ
- ◆ 低い改編率で安定した視聴率 4月改編後も月間三冠王スタート

【2009年度・通期 視聴率】

		フジテレビ	日本テレビ	TBS	テレビ朝日
09年度 (09/03/30- 10/03/28)	G	13.6	12.5	9.5	11.0
	P	13.4	12.6	9.7	11.7
	全	8.5	8.4	6.6	7.7
08年度 (08/03/31- 09/03/29)	G	13.3	12.4	11.2	11.4
	P	13.4	12.4	11.1	12.1
	全	8.5	8.3	7.5	7.8
増減	G	+ 0.3	+ 0.1	▲1.7	▲0.4
	P	±0.0	+ 0.2	▲1.4	▲0.4
	全	±0.0	+ 0.1	▲0.9	▲0.1

【2009年度・下期 視聴率】

		フジテレビ	日本テレビ	TBS	テレビ朝日
09年度 下期 (09/09/28- 10/03/28)	G	14.1	12.9	9.5	11.1
	P	13.7	13.0	9.8	11.7
	全	8.8	8.6	6.7	7.5
08年度 下期 (08/09/29- 09/03/29)	G	13.4	12.9	11.3	12.2
	P	13.5	12.7	11.2	12.8
	全	8.6	8.5	7.7	8.1
増減	G	+ 0.7	±0.0	▲1.8	▲1.1
	P	+ 0.2	+ 0.3	▲1.4	▲1.1
	全	+ 0.2	+ 0.1	▲1.0	▲0.6

◆ 好調な視聴率を背景に最小限のGP帯改編率

- ・平日GP帯の好調な視聴率を受け、他局に比べて低い改編率
 - * 月-金 G帯: 9%・P帯: 14%
- ・土日GP帯を強化
 - * 土7:「人志松本の○○な話」 23時台からゴールデン進出
 - 日8:「爆笑レッドカーペット」・日10:「Mr.サンデー」
- ・1月クールに続き好調な連続ドラマは、
 - 月9「月の恋人」: 初回視聴率22.4%で今年の民放連続ドラマ最高視聴率スタート
(同枠での20%以上の初回スタートは、2008年夏の「太陽と海の教室」以来)
 - 火9「絶対零度」: 初回視聴率18.0%の好スタート
(同枠での18%以上の初回スタートは、2005年以降で2005年冬と2009年夏の「救命病棟」に続き3作目)
 - 火10「チーム・バチスタ2 ジェネラル・ルージュの凱旋」: 6話までの平均視聴率 13.8%
(同枠での初回~6話平均視聴率13.5%以上は、2006年以来) (5月11日放送)
 - * 1月クール連ドラ平均: 13.6% (日テレ: 11.9%・TBS: 8.8%・テレ朝: 10.7%)

◆ 次代のタイムテーブルを担う若手の登用

- ・若手企画マン・若手制作マン・若手タレントによる新番組を積極編成
 - 23時台: 火「予約のとれない! くちこみっ! の館」、金「恋するTV スゴキュン」、土「潜入! リアルスコープ」
 - 月-木ベルトドラマ: 「東京リトルラブ」
 - 月-水ベルト企画: 「フジ算」

- ◆ イベント事業は「コレオ」が記録的大ヒット。フジテレビの業績を下支え
- ◆ 映画事業は第4四半期の業績好調により、通期で増収増益に。
- ◆ ビデオ事業は消費低迷の影響を受け、大幅減収

(単位:百万円)

	09年度		08年度	
	金額	構成比	金額	構成比
その他放送事業収入	32,352	9.9%	31,424	9.0%
番組販売収入	18,664	5.7%	18,341	5.3%
CS・その他	13,687	4.2%	13,083	3.8%
その他の事業収入	50,601	15.5%	47,678	13.7%
放送収入以外の収入計	82,953	25.3%	79,102	22.7%

(単位:百万円)

	09年度	08年度	増減
イベント事業収入	18,061	15,260	+ 2,801
映画事業収入	7,565	6,809	+ 756
ビデオ事業収入	9,137	10,859	▲1,722
MD事業収入	7,058	9,788	+ 1,105
デジタル事業収入	3,836		
その他事業収入	4,942	4,960	▲ 17
その他の事業収入	50,601	47,678	+ 2,923

- ◆ 「コルテオ」はシルク・ドゥ・ソレイユ前作「ドラリオン」を動員13%(同期比)上回る記録的大ヒット
- ◆ 2010年度は「ルナ・レガーロ」「ウォーキング・ウィズ・ダイナソー」などの大型イベントを計画



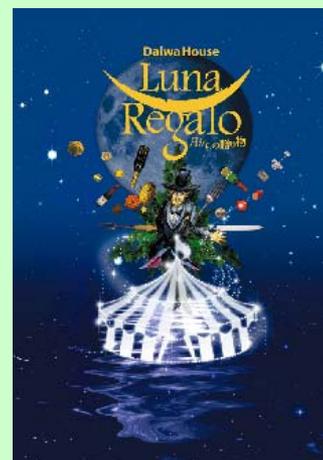
仙台公演
10年4月21日～6月6日

(単位:万人)

	最終公演 ※1 開幕前までの 観客動員数	イベント通算 観客動員数
コルテオ	150.6	※2 157.4
ドラリオン	133.3	149.9
増減	+ 13.0%	—

※1 コルテオ仙台公演・ドラリオン福岡公演
※2 コルテオ観客動員数は、10年5月9日終了時点

2010年度二大イベント



『Luna Regalo』

アクロバット・サーカス
×
鉄人レストラン

4月29日～8月1日

@日比谷パティオ特設会場
6月までの2万4千席ほぼ完売
7月以後の券売も快調

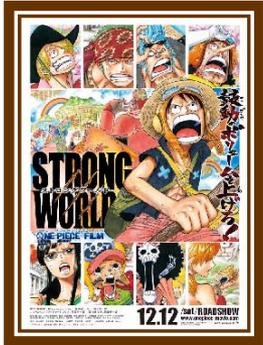


『WALKING WITH DINOSAURS』

7月8日～8月22日
全国7箇所・70公演

追加公演も含め33万5千席
ほぼ完売

- ◆ 「のだめカンタービレ 最終楽章 前編」「라이어ゲーム ザ・ファイナルステージ」などの大ヒットが第4四半期の業績に貢献
- ◆ 2010年度は夏に向けて番組連動大型タイトルが目白押し



『ワンピース フィルム
ストロングワールド』
09年12月12日公開

興行収入:47.7億円
観客動員:382.6万人



『のだめカンタービレ
最終楽章 前編』
09年12月19日公開

興行収入:40.5億円
観客動員:339.0万人



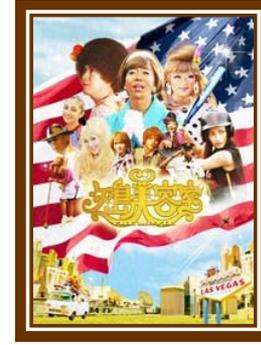
『라이어ゲーム
ザ・ファイナルステージ』
3月6日公開

興行収入:23.3億円
観客動員:191.7万人



『のだめカンタービレ
最終楽章 後編』
4月17日公開

興行収入:28.7億円
観客動員:237.1万人



『矢島美容室 THE MOVIE
～夢をつかまねばだ～』
4月29日公開

興行収入:2.7億円
観客動員:23.2万人

(5月9日
終了時点)



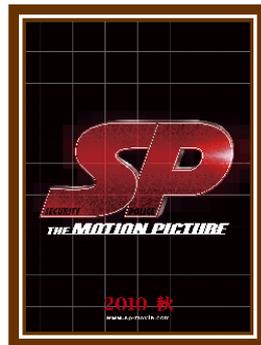
『踊る大捜査線
THE MOVIE 3
ヤツらを解放せよ!』
7月3日公開

興行収入 第1作:101億円
第2作:173.5億円



『THE LAST MESSAGE
海猿』
9月18日公開

興行収入 第1作:17.4億円
第2作:71.0億円



『SP 野望篇』
10月30日公開

来春『革命篇』公開予定



『ノルウェイの森』
12月11日公開

その他にも

『座頭市 THE LAST』
5月29日公開

『シュアリー・サムディ』
7月17日公開

『カラフル』
8月21日公開

などラインナップ

- ◆ 第4四半期に大量ラインナップを投入、減収に歯止め
- ◆ 2010年度は「最後の約束」の予約販売が好調スタート
- ◆ 連続ドラマや人気バラエティ番組のほか、韓流ドラマやアニメ作品をはじめとする放送連動型の話題作を続々発売予定

2009年度第4四半期の主な作品



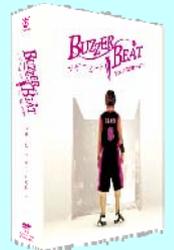
ヘキサゴン
ファミリーコンサート
WE LIVE ヘキサゴン
2009 デラックス版



桑田佳祐の音楽寅さん
～MUSIC TIGER～
あいなめBOX



0号室の客
DVD-BOX1



ブザービート
～崖っつちのヒーロー～
DVDBOX



東京DOGS
ディレクターズカット版



フジテレビ開局50周年
記念ドラマ 不毛地帯
(第1～10話)

2010年度発売予定



セルレンタル合計
18万本
単発ドラマ史上最高

嵐主演 最後の約束
6月2日発売
予約絶好調



チャギントン
7巻&8巻
5月7日発売

毎週日曜
5:45～
放送中

人気韓流ドラマ:
韓流α
(月・金午後2:07～)
BSフジ
などで放送中



善徳女王
【ノーカット完全版】
DVDBOX II
4月21日発売



チンク
～愛と友情の絆～
DVDBOX
I : 5月26日発売
II : 6月30日発売



華麗なる遺産 DVD-BOX
＜完全版＞
I : 6月16日発売
II : 7月21日発売
III : 8月18日発売

その他、
「人志松本のすべらない話」「クイズ！ヘキサゴンⅡ」や連続ドラマなどの
番組連動ソフトや、「夜のヒットスタジオ」「ミュージックフェア」などの
開局50周年企画など、話題作を発売予定

- ◆ 全放送局に先駆け、2005年8月にサービス開始、2008年11月には地上波番組を配信開始
- ◆ 急成長「フジテレビ On Demand」は、第4四半期を通して単月黒字化！
- ◆ 早期の単年度黒字化を目指す。



フジテレビの地上波やCS、BSフジにて放送中の番組や過去に放送した番組を動画配信！！

地上波で放送中の番組と過去に放送した番組が続々ラインナップ

ドラマ(62タイトル)、バラエティ(27タイトル)、
アニメ(5タイトル)、音楽(3タイトル)、
スポーツ(2タイトル)、情報番組(3タイトル)



見逃し視聴サービス中の番組

配信提携事業者とのパートナー戦略で売り場を拡大

- ・テレビ(専用受信機)視聴 : J:COMオンデマンド、ひかりTV、TUTAYA TV、U-NEXTなど
- ・PC視聴 : ShowTime、BIGLOBE、Gyao!ストアなど
- ・モバイル視聴 : LISMO Videoなど

企画セールスでアクセスが急増し急成長！

- ・ドラマレジェンド「ワンコイン祭」(2009年12月～2010年3月): 名作ドラマを1話105円／シリーズ525円で配信
- ・ドラマレジェンド第二弾「古畑任三郎 ワンコイン祭」(2010年4月～6月): 古畑任三郎シリーズを1話105円／シリーズ525円で配信

※ 通常は1話315円／シリーズ1575円

- ◆ 2003年にフジテレビホームページ内で、無料ゲームコーナー「フジテレビ☆プラネッツ」を開始
- ◆ 2010年度、いよいよ番組連動のオンラインゲームコミュニティ「キミフジ」サービス開始で「ゲームのフジテレビ」本格始動

①フジテレビ☆プラネッツ (2003年4月開始)



- ✓フジテレビ公式ホームページ内のアドバゲームサイト
- ✓5000万PV / 月で、ホームページ内No.1のアクセス
- ✓広告連動型FLASHゲームを60種類を展開
- ✓広告とアイテム課金

②ゲームセンターCX (2003年10月開始)



- ✓フジテレビモバイルサイトで、「のだめカンタービレ」「ライアーゲーム」、CS番組「ゲームセンターCX」などの番組連動ゲームを中心に300タイトルをラインナップ
- ✓月額315円の課金

③刑事ハードボイルド (2010年3月開始)

- ✓テレビ局で初となるソーシャルゲームのモバゲーオープンプラットフォーム(約1600万会員)への提供
- ✓広告とアイテム課金



④キミフジ (2010年3月β版開始)



- ✓ユーザーのアバターが集まるオンラインゲームコミュニティ
- ✓番組さながらのゲーム(ネプリーグ・ヘキサゴンなど)に複数のユーザーが参加可能
- ✓ユーザーは購入したコミュニティの通貨(ゴールド)でゲームに参加したり、アイテムを購入
- ✓番組連動ゲームを順次追加予定



- ◆ キー局が手がける史上初の番組連動SNS事業「1924」を立ち上げ
- ◆ 19-24才に対象年齢を明確にしたコミュニティ
- ◆ 多くのユーザーを集め、将来的にプレミアム課金・広告・コマースなどへ展開

1924

フジテレビ第二公式サイト「1924.jp」

「ひたむきにがんばる19-24才を応援する」

人生の重要な節目を迎えているデジタルネイティブな若者に、番組やケータイ、PCを絡め、フジテレビと視聴者との新たなコミュニケーションを創出
コミュニティに多くのユーザーを集める

番組との連動

- ①トークドキュメンタリー「1924」
(毎週金曜深夜25:05～)
19-24才の普通の若者がスタジオで恋愛・友情・仕事などのテーマをまじめにトーク
- ②ベルトミニドラマ「東京リトルラブ」
(月曜～木曜深夜24:35～)
人生につまずき台湾を飛び出してきた女性と恋人にフラれた男性。ひたむきに生きる二人が東京のコンビニで出会い、恋に落ちていくストーリー

ソーシャルメディア「イマつぶ」 で発言を共有

- ・入力した短いつぶやきを大勢の人々で共有するミニブログ的サービス
- ・番組を見ながら自由な発言を交わしコミュニティに参加

Web上でイベント などを展開



フジテレビ以外の 主要子会社の業績

フジテレビ以外の主要子会社の業績概要①

【ニッポン放送】

(単位:百万円)

	09年度	08年度	増減率
売上高	20,834	22,518	▲7.5%
営業利益	▲174	166	—
経常利益	▲207	200	—
純利益	▲399	66	—

- ・イベント収入は前年並み、ラジオ物販収入は増収ながら、メインの放送収入が引き続き軟調で大幅減収
- ・番組制作費削減、経費節減を進めたものの営業赤字を計上

【ポニーキャニオン】

(単位:百万円)

	09年度	08年度	増減率
売上高	49,759	54,976	▲9.5%
営業利益	228	1,609	▲85.8%
経常利益	755	1,874	▲59.7%
純利益	605	966	▲37.3%

- ・CD・DVD市場の不振が続く。さらに映像部門は「アマルフィ」などのヒットはあったが前期の「チュモン」に及ばず、音楽部門は「ヘキサゴン」関連の反動減の影響で減収
- ・費用の効率的運用に努めたが減収分を補いきれず減益

【クオラス】

(単位:百万円)

	09年度	08年度	増減率
売上高	33,794	34,007	▲0.6%
営業利益	▲69	▲12	—
経常利益	▲78	▲39	—
純利益	▲60	▲247	—

- ・広告市況の低迷の影響を受け、減収
- ・販管費の削減を図るも補えず、赤字幅拡大

【ディノス】

(単位:百万円)

	09年度	08年度	増減率
売上高	57,989	60,954	▲4.9%
営業利益	376	662	▲43.2%
経常利益	390	695	▲43.8%
純利益	447	182	+145.3%

- ・テレビ通販、ファッション系・美容健康系カタログ通販は引き続き好調だが個人消費の低迷を受け全体では減収
- ・商品評価損算定方法の変更による一時的要因で営業減益

【セシール(連結ベース・子会社化以後)】

(単位:百万円)

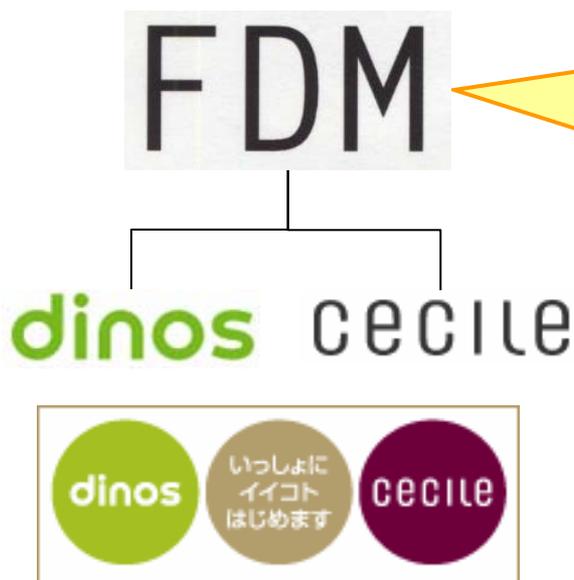
	09年度 (7月-3月)	08年度 (7月-3月)	増減率
売上高	42,616	44,114	▲3.4%
営業利益	126	▲507	—
経常利益	0	▲648	—
純利益	▲2,045	▲1,661	—

- ・「スマートヒート」などヒット商品はあったが、消費環境の悪化や天候不順の影響を受け、全体では減収
- ・運送費・カタログ費用・DM配送費などの低減などにより営業黒字に転換

<p>ニッポン放送</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・放送収入を確保しながら、利益率の高い放送事業外の新規事業の開発に取り組む。 ・更なるコスト削減を進め、黒字化を見込む。
<p>ポニーキャニオン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・映像事業では、引き続きミニマム・ギャランティのリスクをコントロールしながらヒット作品を確保する。 ・音楽事業では、アーティスト・ラインナップの強化と見直しによる再編を図る。 ・売上原価・販管費の圧縮を徹底し、収益力を向上
<p>クオラス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポンサー企業とコンテンツとをタイアップするプロモーション、グループ企業と連携したイベント企画などを強化する。 ・舞台公演やイベントでの物販事業の売上拡大と利益率の向上に取り組む。 ・業務の効率化やコスト管理の徹底による収益構造の改善
<p>扶桑社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・収益性のある雑誌は利益率の向上に取り組み、不採算雑誌は休刊を視野に入れた抜本的な見直しを実施 ・フジテレビ関連本やタイムリーな新刊本の発行に注力し、売上拡大を図りながら返本率の改善に取り組む。 ・引き続き一層の費用削減を徹底し、黒字化を見込む。

- ◆ 4月に通販事業を統括する機能を持つ中間持株会社「フジ・ダイレクト・マーケティング」を設立
- ◆ 共同購買・共同仕入・共同商品開発・システム統合などを推進し、早期のシナジー効果創出による通販事業の拡大発展を目指す。

フジ・ダイレクト・マーケティング (FDM) グループのイメージ



共同購買
共同仕入
共同商品開発
情報システム統合
相互顧客基盤の活用
Eコマース強化
など

チラシ・カタログ用紙、関連資材、印刷・製本コストの削減
⇒ 海外用紙比率の引き上げ、共同発注、制作プロセスの見直し・共通化

新統合基幹システムの共同開発によるコスト削減
⇒ 2013年稼働を目標に以下のシステム機能を統合

新基幹システムで統合する機能：
受発注・在庫管理・出納・記帳・顧客データ管理

外部プレーヤーとの連携による新たな売上の創造、新規顧客の獲得
⇒ メディア系サイトに向けた通販機能、商材の提供
→ 取扱規模の拡大
⇒ 通販ユーザー顧客ベースに向けた情報配信・コミュニティ機能の提供
→ ソーシャルECへの取り組み
⇒ アジア圏での事業展開
→ 商圏の拡大

その他

- ◆ 2010年度は新タワー関連設備などによる設備投資額の一時的な増加があるものの、2011年度以降の設備計画は縮小、減価償却費も大幅に軽減される見通し。

(単位: 億円)

設備投資計画		2009年度 (実績)	2010年度 (予定)	2011年度 (予定)
設備投資	連結	107	151	117
	フジテレビジョン	90	120	80
	フジ・メディア・HD	2	1	3
減価償却	連結	235	234	225
	フジテレビジョン	154	150	140
	フジ・メディア・HD	47	47	47

- ◆ 2009年度の期末配当金は、業績の改善を受け2月4日発表予想から引き上げ
- ◆ 2010年度は引き続き連結ベースの目標配当性向を40%としながら、さらに年額1,600円を年間配当金の下限として設定

(単位:円)

	中間期	期末	年間
2010年度 予想	800	800	1,600
2009年度	800	800	1,600
2/4発表 2009年度 予想	800	400	1,200
2008年度	1,800	1,800	3,600

P18 : Photos: Marie-Reine Mattera Costumes: Dominique Lemieux
© 2007,2008 Cirque du Soleil © 2007 Fuji Television

P19 : © 尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©「2009ワンピース」制作委員会
© 2009フジテレビ・講談社・アミューズ・東宝・FNS27社
© 2010フジテレビジョン／集英社／東宝／FNS27社
© 2010フジテレビ・講談社・アミューズ・東宝・FNS27社
© 矢島美容室プロジェクト
© 2010フジテレビジョン アイ・エヌ・ピー
© 2010フジテレビジョン ROBOT ポニーキャニオン 東宝 小学館 エー・チーム FNS27社
© 2010「SP」プロジェクトチーム
© 2010「ノルウェイの森」村上春樹／アスミック・エース、フジテレビジョン